

Sound Culture.
Poland × Japan Music Festival

Mi to mi ミヲミ

Namba Hiroba Osaka
4 Sat, 5 Sun October 2025

音が導く、
未を美を魅

Fuki Kitamura^{JP}
KLAWO^{PL}
Kinga Głyk^{PL}
Małe Instrumenty^{PL}
Mitch & Mitch^{PL}
Tomoaki Baba^{JP}
Zakino^{JP}
4ACES^{JP}



Ministry of Culture and National Heritage
Republic of Poland



ADAM
MICKIEWICZ
INSTITUTE



Poland.
Expo2025.Osaka.Kansai

Mitomi ミトミ

Namba Hiroba Osaka なんば広場

4 Sat, 5 Sun October 2025

日時 | 2025年10月4日[土], 10月5日[日] 入場無料 Admission Free

Day1 Start 14:30 Close 21:00 Day2 Start 13:00 Close 21:00

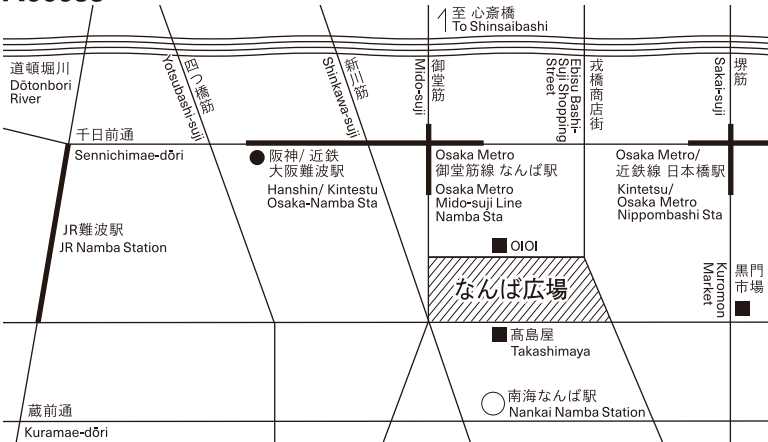
ステージでの演奏は20時まで

Introduction

Sound Culture. Japan and Poland Music Festivalは音楽を通じた生きた共有体験の場です。個性あふれる大阪の街を体現するミナミ、なんば広場を舞台に、ポーランド音楽シーンの最前線で活躍する四組のアーティストと、日本ジャズシーンを牽引するアーティストたちが共演します。タイトルである「Mito mi (ミトミ)」は、「はじめまして」を意味するポーランド語であり、未体験であふれる本イベントを象徴する言葉です。また、日本人にとっての“ミ”という音は、実/魅/未/身/満/美...と様々な意味を持ちます。そして両国のアーティストから発せられる未知のサウンドは、“ミ”の音の持つ多様性をより豊かにしてくれるでしょう。ポーランド×日本の音に導かれ、会場に集まるエネルギーをぜひ体感ください。

Sound Culture. Japan and Poland Music Festival is a place to share real, live experiences through music. Set in Namba Hiroba vibrant area that truly reflects the character of Osaka. This event brings together four exciting artists from the forefront of Poland's music scene and top musicians from Japan's jazz world for special performances. The title “Mito mi” means “Nice to meet you” in Polish. It perfectly captures the spirit of this event, which is full of first encounters and new sounds. In Japanese, the sound “Mi” can mean so many things truth, charm, unknown, self, fullness, beauty and the unique music created by these artists from both countries will expand those meanings even further. Come and feel the energy that gathers through the sounds of Poland and Japan. We're looking forward to sharing this moment with you.

Access



なんば広場 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波5丁目 5-chōme, Namba, Chūō-ku, Osaka-Shi 5420076 Osaka Japan

各鉄道駅からのアクセス

- 南海電鉄なんば駅 | 北口より徒歩2分 ● Osaka Metro なんば駅 | 各線より 徒歩4~10分
- 阪神/近鉄線 大阪難波駅 | 東改札より徒歩7分 ● JR大和路線JR難波駅 | 改札より徒歩15分

Access from each train station

Nankai Line Namba Station —2 minutes walk from the north exit
Osaka Metro Namba Station —4~10 min walk From various lines
Hanshin/ Kintetsu Line Osaka Namba Station —7 minutes walk from the East gate
JR Yamatoji Line JR Namba Station —15 minutes walk from the ticket gate

Infomation



本プロジェクトはポーランド文化・国家遺産省の支援の下、アダム・ミツキェヴィチ・インスティテュートが主催する「ポ!ランド」プロジェクトのひとつ。投資・貿易庁が全体のコーディネートを手がけるポーランドの大阪・関西万博参加に合わせ、文化振興の一環として実施するものです。

This project is part of the Pollland (ポ!ランド) event series organized by the Adam Mickiewicz Institute and financed by the Ministry of Culture and National Heritage as part of the cultural programme accompanying Poland's participation in the World Expo 2025, coordinated by the Polish Investment and Trade Agency.

Artist Line up Polish



Mitch & Mitch (ミッチ&ミッチ)は、カントリー&ウェスタンを独自に解釈した“カントリー&イースタン”というスタイルで、9人編成で活動するポーランドの謎多き予測不能なコレクティブ。エンニオ・モリコーネの作品から影響を受けた最新プロジェクトや、日本人ピアニストTakeo Toyamaとの共演や、本イベントのために用意した特別プログラムを披露する。



Kinga Glyk (キング・グライク) 圧倒的なグルーヴとメロディアスな表現力で注目され、若き才能として国際的に活躍する、ポーランド新世代を代表するベーシスト。本イベントでは、4ACESのメインメンバーであるMELRAWが彼女のサクスのパートとして加わることが決定。また、日本を代表するサクソプレイヤー馬場智章とのステージ上での共演も見逃せない！

Artist Line up Japanese



北村 遼 2023年3月に初の配信シングル「amaranthus feat. 梅井美咲」をリリースし彗星の如く日本音楽シーンに現れる、やいなや同年よりFUJI ROCK FES、ROKIE A GO-GOに2年連続出演。クラシックをルーツに持ちダンスミュージック、ジャズ、フォーク、エレクトロニカなど、様々なジャンルを行き来する音楽性は本フェス主催のクラシック大団ポーランドサイドも大絶賛。



馬場 智章 最早JAZZファンには説明不要、日本を代表するサクソ奏者。2023年公開アニメーション映画「BLUE GIANT」主人公役での演奏を担当しJAZZ ファンのみならず幅広い層より人気を得る。今回は関西JAZZシーンの中でも注目の4名、坪田英徳ds 田中洋一tp 藤川幸恵key 時安吉宏bによる今夜限りの激レアメンバーがスタンバイ。まさにファン垂涎モノのLIVEです。



Male Instrumenty (マウエインストルメンティ) 玩具楽器や独自の発明楽器など“小さな音の世界”を探索する2006年結成のアート集団。ユニークな楽器づくりと多彩な録音活動を展開し、映画・演劇音楽も手がける。ショパン作品を革新的に解釈したトイピアノでの演奏は必聴。また、当日は彼らの創造性を通してポーランド音楽、文化をより身近に感じられるワークショップを開催予定。



KLAWO (クラヴォ) ファンク/ジャズ/ヒップホップ/エレクトロニカなど多様な音楽性を融合させた横断的なサウンドを展開する気鋭のバンド。ホーンやフルートを重ねた軽快かつ豊かなグルーヴは、現代UKジャズや70年代ポーランド・ファンクとも比較される。ポーランド音楽シーンでも特に注目されるアーティストの一组がミオミのステージで日本初公演。



4ACES 自身のソロ名義である“MELRAW”としての活動から、宇多田ヒカル、KING GNU、米津玄師、など数々のメジャーアーティストとのサウンドを支えてきた安藤廉平を中心に、現行ジャズシーンにとどまらずポップスシーンに牽引する実力派4人による注目バンド。さまざまなシーンで活躍する旧知の4人が各々のJAZZの名の下に結集。音楽の交差点とも言えるLIVEを目撃せよ！



ZAKINO 音楽プロデューサー、ドラマー Seiichi Sakumaによるソロプロジェクト。国内外で活動し、数々のライブでセッションしてきた日本が誇る実力派ミュージシャンを結集させ、2021年に活動開始。FUJI ROCK FES'24にも出演し Rock オーディエンスを圧倒するLIVEが話題を呼ぶ。国境という概念を超え、新時代を象徴する食欲な音楽スタイルは本フェスに化学反応を生む事だろう。

- 主催/企画 | アダム・ミツキェヴィチ・インスティテュート
- 制作運営 | 寺浦 薫・常泉 佑太 (E-DESIGN) ●プロデューサー | 機関 建太
- プロジェクトマネージャー | 石塚 芽生 ●翻訳 | 山田 円爽 (byten)
- 植栽 | 谷向 俊樹 (緑向ガーデン) ●空間設計 | 寺田 英史 (tamari architects)
- ブックイングマネージャー | Penny (Sharp Eleven) ●運営協力 | 田中 健一
- PR ディレクター | 森本 啓介 ●グラフィックデザイン | 平野 新 (typoésie)
- 舞台制作 | びあ ●広報 / PR | 花岡、笹貴 淳子、吉田 真央
- 協力 | 南海電鉄、一般社団法人 expo expo

IAM Web | <https://iam.pl/en>
CULTURE.PL Web | <https://culture.pl/jp>
Pollland Instagram | @po.land_osaka
Pollland Official Web | <https://pollland2025.jp>

